



なめこ集め

会員 見次 友浩 (65期)

1 なめこを集めています

いきなり何を言い出すんだと思った方が多いでしょうが、集めているものは集めているとしか言いようがありません。もっとも、さすがに家に菌床を置いてキノコを育てているわけではありません。『おさわり探偵 なめこ栽培キット』というゲームに関連する話です。このなめこ栽培ゲームはスマートフォン用のアプリケーションで、かつて一世を風靡したものです。内容はいたって単純で、原木に栄養剤を与えると、木になめこが生えてくるので、それを画面をタップする（スマホの画面を指でなぞる）ことで収穫する、というだけです。が、その収穫できるなめこにはたくさんの種類があり、頭に双葉の生えた双葉なめこ、ファラオのような恰好をした黄金なめこ、天使のような天使なめこ（画像参照）などなど様々で



© Beeworks/SUCCESS

2 ご当地なめこ

そしてこのゲーム、余りに人気が出たため、様々なグッズ化がされました。なめこの人形、なめこの携帯ストラップ、なめこの弁当箱など、本当に様々です。その中の一つが、私の集めている「ご当地なめこストラップ」です。

「ご当地キティちゃん」だとか、「ご当地ドラえもん」というのは聞いたことのある方も多いのではないのでしょうか。要するに、仙台なら牛タン、香川なら讃岐うどんなどと言った、各地域を特徴づけるような何かを模した（コスプレした）キャラクターグッズです。そのなめこバージョンです。土産屋に行ったとき、例えば名古屋では、金の鯨キティや織田信長ドラえもんなどと並んで手羽先なめこがいるわけです。

これらは、基本的にその地域でなければ購入できない、各地域特有のお土産品です。それを、各地域に出張ないし旅行に行くたびに購入したり、旅行に行った人からもらったりして、集めているわけです。

3 お気に入り

各地で見つけた中では、岩手のわんこ蕎麦なめこが面白いです。積み重なった蕎麦のお椀の上になめこが入っているのですが、そのなめこがお椀の中の蕎麦を啜っているという造形です。食われる側が食っているというシュールさがあります。

各地にはまだ見ぬなめこがたくさん眠っていますから、私の出張や旅行の際の一つの楽しみにもなっています。おいしいものを食べて、観光名所に行って、思い出の品として名物のコスプレをしたなめこを買って帰る。皆様もいかが？

